

領域別科目群「領域別A」・「領域別B」の総括

1 はじめに

いわゆる“全カリ2ndステージ”として言語教育科目は2010年度、総合教育科目は2012年度にそれぞれ新カリキュラムに移行している。その中で領域別科目群「領域別A」・「領域別B」は、2012年度から始まった総合教育科目のシンボリカルな科目群として位置づけることができる。領域別科目とは10学部それぞれが他学部生向けにディシプリンを学ぶ機会を提供することを目的としていて、提供学部の学生は履修することができない。全ての学部生が自由に履修可能であった全カリが、初めて履修に制限を導入したことも新しい。また、各学部のディシプリンや専門性を全カリの場を通じて他学部生に提供し、これが全カリの卒業要件単位となる。領域別科目の検討過程では「学部提供科目」といった名称が用いられたこともあり、提供学部の学生と全カリ生（＝他学部生）が混在型の科目形態も本格的に議論された経緯がある。まさに領域別科目とは、2016年度から始まる「RIKKYO Learning Style」（学士課程統合カリキュラム）につながる布石ともいえる学部のディシプリン（専門教育）と全カリ（教養教育）の融合に口火を切った科目群といえるであろう。全カリ2ndステージにおける特徴的な科目群である領域別科目群「領域別A」・「領域別B」について、2012～2015年度にかけての4年間の実績をカリキュラム構想や運営に携わった関係教員3名による稿に基づき総括を試みたい。

2 科目群の定義と科目一覧

領域別科目群

この科目群は各学部から提供される科目の集合であり、それぞれの学部の特徴を持っている。学生が4年間で自分の専門以外のさまざまな学問分野に触れ、異質な思考法や問題意識を身につけることを目的としている。なお、各科目の提供元である学部所属している学生は履修できない。（たとえば理学部提供科目なら、理学部生は履修できない）

領域別A (講義系)

提供学部以外の学生も共有すべき課題等について、その学部の基本的な学問内容を支柱にして行われる講義系式の科目群である。履修に際しては、その分野の専門用語についての知識や数式を特に必要とはしない。履修する学生には自分の専門領域を超えた知的好奇心をもって臨むことを求める。

キリスト教学への招待 / 文学への招待 / 哲学への招待 / 歴史学への招待
 地域研究への招待 / 教育学への招待 / 経済学の基礎 / 経済政策の基礎
 会計学の基礎 / 数学入門 / 物理学入門 / 化学入門 / 生命科学入門
 社会学への招待1 / 社会学への招待2 / 社会学への招待3 / 法への招待
 政治の諸相 / 経営学入門 / 異文化コミュニケーション学への招待
 地域・文化研究の世界 / 観光学への招待 / 観光と社会
 コミュニティと福祉 / いのちの尊厳と福祉 / 心理学への招待1
 心理学への招待2 / 映像学への招待 / 身体学への招待
 ウエルネスの科学 / 心身コンディショニング

(31科目・66コマ開講 / 1年度あたり)

領域別B (文献系)

各々の学問領域における古典や重要文献を読む授業である(原則として日本語か英語で行われる)。専門外の一流文献を主体的に読み込むことで、古今東西の思想や他分野の思考に触れ、知的視野を広げることを目的としている。

キリスト教学を読む / 文学を読む / 哲学を読む / 歴史を読む
 地域を読む / 教育を読む / 経済学を読む / 社会学を読む
 法学文献講読 / 政治学文献講読 / 経営学文献レビュー
 言語研究・言語教育研究レビュー / 観光の捉え方 / 福祉社会を考える
 競技スポーツの科学 / こころの科学基礎文献講読
 映像と身体について考える

(17科目・27コマ開講 / 1年度あたり)